20th Anniversary 2001-2021

ものつくり大学・未来への挑戦 ③

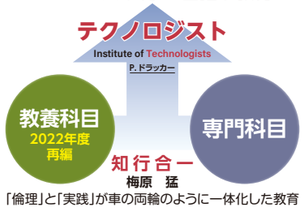
4/1教養教育センター新設、知行合一へ

ものつくり大学は2022年4月1日、教養教育センターを新たに開設する。専門を生かした教養を身につける科目も新設。2001年の開学以来、理論と実践が車の両輪のように一体化した教育を推進し、単に理論が分かるだけでなく技能・技術の腕も併せ持った人材であるテクノロジストを育成、輩出している。テクノロジストとして必要な基礎学力、専門的知識、技術技能に教養を加えた人材を育成するものつくり大学の新たなステージが始まる。教養教育センターのセンター長に就任予定の澤本武博建設学科教授とセンターの運営委員に就く荒木邦成総合機械学科教授にセンター開設の狙いなどについて聞いた。

澤本センター長・荒木運営委員に聞く　さらなる対応力、真摯さを持つ本物のテクノロジスト育成

インタビューに応えるセンター長、澤本武博・建設学科教授

ものつくり大学の目指す教育



「倫理」と「実践」が車の両輪のように一体化した教育

―教養教育センターを開設する狙いは。

◆澤本　ものつくり大学は1学部2学科です。技能工芸学部の中に総合機械学科(2022年4月情報メカトロニクス学科に変更)と建設学科があります。教養教育センターは学部全体の教養教育を担います。開学以来、実習60%、座学40%と実際にものを作ることで、知識と実体験が融合した教育を実施してきました。(センターを開設することで)優れた技術、技能に加え、ものづくりへの誇りと物事に真摯に向き合う心などを持ったさらなる本物のものづくりを目指します。これまでも教養教育に取り組んできましたが、本物のものづくり人材の育成を目指して再編します。

◆荒木　いま、時代は激変しています。ニーズもますます多様化しています。社会に存在するさまざまな課題を解決することが求められており、ものづくりの技術だけではなく、いろいろな知見が必要となっています。

―どのように再編しますか。

◆澤本　今後は総合機械学科と建設学科の学生が一緒に学べるようにします。両学科の垣根を越えて、授業を展開します。学科が違う学生が交流することで生まれる効果も期待できます。科目は「ものづくり系科目群」と「ひとづくり系科目群」、そして「リベラルアーツ系科目群」の3つの科目群を設けます。

―どのような科目を予定していますか。

◆澤本　「リベラルアーツ系」ではものつくり大学という大学名の命名者で初代総長を務めた梅原猛先生が着手した広大な諸領域を概観し、世界文明における本学の使命を学ぶ「梅原猛で学ぶ学問と世界」を予定しています。ものつくり大学の英語名を命名したドラッカー氏のマネジメント論の原理を理解する「ドラッカーで学ぶマネジメント」などです。SDGs(持続可能な開発目標)の科目も設けて、理解を深めていきます。多面的な角度から物事を考える力を高めていきます。

◆荒木　ものづくり系科目群では「デザイン思考」という科目も予定しています。デザインをベースにして、社会の課題解決を実現できればと考えています。

―教養教育センターを開設することで、ものつくり大学はどう変わりますか。

◆澤本　予測できない事態への対応力がさらに身につくと見ています。技術、技能はもちろん、正しい倫理観や真摯さを持った本物のものづくり人材を育てていきます。本物のものづくりにこだわります。

◆荒木　社会のあらゆる課題を解決できる社会性、倫理性、現場力を身につけたテクノロジストを育成、輩出していきます。

―教養教育センターの体制は。

◆澤本　センター長と4人の教員でスタートします。そのほか、センターの運営にかかわる運営委員会を組織します。運営委員は3人です。

―今後の計画は。

◆澤本　センターの教員を外部に派遣していきます。地域社会との連携を加速させます。

◆荒木　2023年度のスタートを目指して、「データサイエンスリテラシー」の授業内容の検討を始めます。

インタビューに応えるセンター運営委員、荒木邦成・総合機械学科教授

教養教育センターwebサイトオープン

教養教育センターのwebサイトでは、センター設置の目的をはじめ、ものつくり大学の目指す教養教育や教養教育の学びの特徴、各科目、センター所属の教員などが紹介されている。

開学20周年記念事業募金を受付中 !!

ものつくり大学では、将来にわたり「社会に貢献する教育研究」や「時代の要請に応える人材の育成」拠点であり続けたいと願い、さらなる教育の質を高め、教育研究の活性化を図っていくため、「ものつくり大学開学20周年記念事業募金」をスタートさせた。概要は下記にて。

寄付の目的

●教育研究設備の高度化　●既存施設・設備の更新
●人材育成への投資

募金制度の概要

1. 募金名称　開学20周年記念事業募金
2. 募金目的　情報化施工に関する各種実習や情報を活用したメカトロニクス化に対応できる教育を行い、ICT基礎知識を身につけた人材育成を目指して新たなシステムを導入する。
3. 募金目標額　1億円
4. 募金期間　2021年6月1日～2023年12月31日
5. 寄付金額　法人・団体：一口10万円以上、個人：一口1万円以上

寄付の申し込み・払込みの流れやその他詳細については、同大学の開学20周年記念事業募金サイトを参照のこと。
https://www.iot.ac.jp/20th/donation.html

知行合一とは

左図にある梅原猛初代総長が提唱した「知行合一」とは、「ものとひと」、「精神と肉体」、「理論と実践」がそれぞれ一体となったものつくり大学の高い教育方針を表わしています。それは、Technology、Skill、Knowledgeそれぞれを学び、深めるだけのスペシャリストを育てるのではなく、この三位一体の交わりに位置づけられる力と、さらにマネジメント力を身につけた新しいテクノロジストの育成を目指すものです。

進化する技・深化する知
ものつくり大学
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

2021年11月1日開学20周年記念式典を挙行いたしました。皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

〒361-0038　埼玉県行田市前谷333番地　［TEL］048-564-3800　［FAX］048-564-3507

ものつくり大学教養教育センター　検索